

寄贈図書リスト

宇宙史を物理学で読み解く, 福井康雄 監修, A5 判, 262 頁, 3,675 円, 名古屋大学出版会
ギリシャ星座周遊記, 橋本武彦, B5 判, 224 頁, 2,800 円, 地人書館
現代宇宙論, 松原隆彦, A5 判, 392 頁, 3,800 円+税, 東京大学出版会
光学実験・測定法 1, Daniel Malacara 編集, 成相恭二, 清原順子, 辻内順平 訳, 240×160 mm, 430 頁, 5,000 円+税, アドコム・メディア株式会社

光学実験・測定法 2 (CD-ROM 付き), Daniel Malacara 編集, 成相恭二, 清原順子, 辻内順平 訳, 240×160 mm, 424 頁, 5,000 円+税, アドコム・メディア株式会社
はやぶさと宇宙の果てを探る, 二間瀬敏史, B5 判, 98 頁, 980 円, 洋泉社,
宇宙飛行士の若田さんと学ぶおもしろ宇宙実験 (DVD 付き), 日経ナショナルジオグラフィック社編, B5 判, 84 頁, 1,800 円+税, 日経ナショナルジオグラフィック社



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申し込みください。

e-mail で jimu@geppou.asj.or.jp 宛。

なお, 原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送りください。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

国立天文台研究教育職員 (ハワイ観測所)

1. 教授 1 名
2. (1) 国立天文台ハワイ観測所
(2) アメリカ合衆国ハワイ州ヒロ
3. 天文学及び関連分野
4. 国立天文台ハワイ観測所では, すばる望遠鏡による共同利用観測を推進すると同時に, さまざまな開発研究を行っています。すばる望遠鏡による研究を高いレベルで維持・向上させることを目的として, 観測所運営の中核を担う教授を公募します。優れた研究・教育実績を有する者で, プロジェクトマネジメントにおいて中心的役割を果たせる人材を求めます。
5. 決定後なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了, またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書, (2) 論文リスト, (3) 研究歴 (個人と

しての研究業績の他に, グループで行った研究・開発プロジェクトの主要メンバーとして果たした業績があれば具体的に記入して下さい), (4) 研究計画書 (個人で行う研究の計画に加えて, ハワイ観測所の運営を担うにあたっての抱負・方針を具体的に記入して下さい), (5) 本人について意見を述べられる方 3 名の氏名と連絡先

8. 2010 年 11 月 22 日 (月) 必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台台長 観山正見
(2) 国立天文台ハワイ観測所長事務取扱 高見英樹
Subaru Telescope, 650 North A'ohoku Place,
Hilo, HI 96720, USA
Tel: +1-808-934-5964,
Fax: +1-808-934-5984
e-mail: takami@subaru.naoj.org
10. 封筒の表に「ハワイ観測所研究教育職員応募書類」と朱記し, 郵送の場合は簡易書留で送付すること。

国立天文台研究教育職員 (TMT プロジェクト)

1. 助教 1 名
2. 国立天文台 TMT プロジェクト室
東京都三鷹市
3. 天文学および関連分野
4. 国立天文台は, すばる望遠鏡, ALMA 計画に続く, 大型計画として口径 30 m の光赤外線望遠鏡

TMTを国際協力事業としてマウナケアに建設することを目指しています。

TMT計画の実現に向け、主鏡セグメントや望遠鏡システムの検討・開発、TMT観測装置の検討・開発、TMTに相応しい観測計画とその実現の検討、関連学界・一般社会へのキャンペーンと概算要求の具体化、などの一翼を主体的に担い、プロジェクトを推進する助教一名を公募します。

5. 決定後なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書 (2) 論文リスト (3) 研究歴 (4) 研究計画書 (5) 本人について意見を述べられる方
2名の氏名と連絡先
8. 2010年10月20日(水)必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台台長 観山正見
(2) 国立天文台 TMT プロジェクト室長
家 正則
Tel: 0422-34-3520, Mobile: 090-6565-6152
e-mail: m.iye@nao.ac.jp
10. 封筒の表に「TMTプロジェクト助教応募書類」と朱記し、郵送の場合は簡易書留で送付すること。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

国立天文台 ALMA 推進室教授

1. 2009年9月(第102巻9号)
2. 森田耕一郎(国立天文台 ALMA 推進室准教授)
3. 2010年8月1日

国立天文台 ALMA 推進室助教

1. 2010年2月(第103巻2号)
2. 立原研悟(国立天文台 ALMA 推進室特任助教)
3. 2010年8月1日

国立天文台 ALMA 推進室助教

1. 2010年2月(第103巻2号)
2. 小麥真也(宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所 宇宙航空プロジェクト研究員)
3. 2010年10月1日

国立天文台研究教育職員(理論研究部)

1. 2010年3月(第103巻3号)
2. 町田正博(国立天文台理論研究部研究員)
3. 2010年9月1日

研究助成

第3回(平成22年度)宇宙科学奨励賞

財団法人宇宙科学振興会では、宇宙科学分野で優れた研究業績を挙げ、宇宙科学の発展に寄与した若手研究者を表彰するために、平成20年度より宇宙科学奨励賞を創設いたしました。ここに平成22年度の第3回宇宙科学奨励賞候補者を募集いたします。当財団のホームページ(<http://www.spss.or.jp>)をご覧ください。本年10月末日までに候補者のご推薦をいただくよう、ここにご案内申し上げます。

本奨励賞は宇宙理学(地上観測を除く)分野および宇宙工学分野で独創的な研究を行い、宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績を挙げた若手研究者に与えられます。候補者は上記分野で優れた業績をあげた37歳以下(当該年度の4月1日現在)の若手研究者個人といたします。業績の審査は、推薦理由となる研究業績に関連して発表された論文に基づいて、当財団が設置する選考委員会において行います。

授賞者は原則として毎年2名(宇宙理学関係1名、宇宙工学関係1名)といたします(ただし適格者のない場合は受賞者なしとする場合があります)。受賞者には本賞(表彰状と表彰楯)と副賞(賞金20万円)が贈られます。推薦締切日は2010年10月31日(日)必着です。推薦はすべて他薦といたします。推薦に当たっては当財団のホームページ(<http://www.spss.or.jp>)より推薦用書式をダウンロードし、必要事項を記入の上、必要な添付書類とともに期日までに当財団事務局宛てにe-mail(下記メールアドレス宛)又は郵送(下記住所宛)提出願います。メールのタイトルまたは封書の表に「宇宙科学奨励賞候補者推薦書在中」と明記して下さい。

お問い合わせ先および推薦書送付先:

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1
(住所が一部変わりました)

財団法人宇宙科学振興会 事務局

Tel: 042-751-1126/Fax: 042-751-2165

e-mail: admin@spss.or.jp

【平成 23 年度笹川科学研究助成の募集について】

財団法人日本科学協会
笹川科学研究助成係

若手研究者への研究奨励として「平成 23 年度 笹川科学研究助成」を下記のとおり募集することとなりましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、貴機関内で募集告知のポスターの掲示等、周知へのご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※ポスターについては下記 URL よりダウンロードして下さい。

1. 学術研究部門

(1) 申請区分と研究対象領域

A [一般科学研究]

人文・社会科学、自然科学（医学を除く）に関する研究

B [海洋・船舶科学研究]

「海洋学および海洋関連科学」ならびに「船舶および船舶関連科学」に関する研究

(2) 研究計画と助成額

研究計画は、単年度（平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 2 月 10 日まで）内に達成され、成果をとりまとめられるものとします。助成額は、1 研究計画 100 万円を限度とします。

(3) 募集対象者

A [一般科学研究]

大学院生あるいは所属機関等で非常勤または任期付き雇用研究者として研究活動に従事する者であって、35 歳以下の者

B [海洋・船舶科学研究]

大学院生あるいは所属機関等で研究活動に従事する（常勤・非常勤は問わず）者であって、35 歳以下の者

2. 実践研究部門

(1) 研究対象領域

教育・学習・自立支援等を行うさまざまな組織・団体（NPO を含む）に所属する者またはグループが、その実践の場で抱える諸問題の解決のために行う研究

(2) 募集対象者

専門的立場にある者、あるいは問題解決に取り組んでいる当事者など。

(3) 研究計画と助成額

研究計画は、単年度（平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 2 月 10 日まで）内に達成され、成果をと

りまとめられるものとします。助成額は、1 研究計画 50 万円を限度とします。

3. 募集期間

平成 22 年 10 月 1 日～平成 22 年 10 月 15 日〈必着〉

募集告知ポスターはこちらより

<http://www.jss.or.jp/sasagawa/poster/poster.html>

募集要項・申請書はこちらより

<http://www.jss.or.jp/sasagawa/apply/apply.html>

● 本会 Web サイトにリンクをしていただける際には、お知らせ願います。

以上

〈お問い合わせ先〉

財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成係

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2

日本財団ビル 5F

Tel: 03-6229-5365 Fax: 03-6229-5369

e-mail: ssrg-jss@silver.ocn.ne.jp

URL: <http://www.jss.or.jp>

研究会・集案案内

第 11 回こどものためのジオ・カーニバル」開催のお知らせ

以下の予定で「こどものためのジオ・カーニバル」を開催しますのでご案内を申し上げます。2000 年の第 1 回以来、今年で第 11 回目になります。

日 時：平成 22 年（2010 年）11 月 6 日（土）、7 日（日）
両日とも、10:00～16:00

主 催：21 世紀の地学教育を考える大阪フォーラム
こどものためのジオ・カーニバル企画委員会

（共 催：大阪科学振興協会）

会 場：大阪市立科学館

この企画は、子どもゆめ基金助成活動により実施されます。

予定されている内容：

工作室におけるセミナー出展（講座）

「大雨を知ろう」

「光のフシギ～分光器で虹をみよう～」

「偏光で鉱物を観察しよう」

「地下水の流れと利用」

の 4 講座

研修室、多目的室におけるブース出展

「地球の歴史の“ばたばた”パズル」

「大阪の星座早見盤づくり」

「アストロラーベを作ってみよう」

「ようこそ！！ちがくのせかいへⅥ」
 「超簡易・超格安フーコーの振り子で地球の自転を体感しよう」
 「山あり谷あり B.H. あり！？宇宙すごろく☆」
 「星座キャラクターを折り紙で作ろう☆」
 「ようこそ不思議な石の世界へX—やってみよう鉱物実験—」
 「立体星座模型をつくろう」
 「紙で動く恐竜を作ろう」
 「よくわかる偏西風」

の 11 出展

大阪府教育委員会などの多数の教育委員会，日本天文学会，天文教育普及研究会などの学会の後援をいただいております。（一部，予定を含む）

ジオ・カーニバルに関する問い合わせは，下記までお願いいたします。

こどものためのジオ・カーニバル企画委員会
 事務局 和田充弘（大阪府立泉北高等学校）
 〒590-0116 堺市南区若松台3丁2番2号
 Tel: 072-297-1065/Fax: 072-293-2376

会務案内

2010年度日本天文学会 林 忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

林 忠四郎賞選考委員会
 標記の二つの賞について，受賞候補者と論文の推薦をお願いします。締切は両賞とも2010年11月10日（水）（必着）です。下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を，〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送して下さい（論文賞についてはe-mailも可）。なお，封筒には「林 忠四郎賞候補推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記して下さい。特に返送等のお申し出がない限り，推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は，両賞とも本会年会の春季通常総会にて行う予定です。

2010年度（第15回）林 忠四郎賞推薦要領

この賞は，林 忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し，「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士が日本天文学会に寄付された金額を基金にして設定されたものです。

分野等：広い意味での天文学（天体物理学，宇宙物理学，他の関連テーマも含む）における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。
 授賞件数：原則として各年に1件。

賞状等：本賞として賞状，副賞として賞牌（メダル）および賞金（30万円）。

推薦書の形式：表題は「2010年度林 忠四郎賞候補者推薦書」として下さい。A4サイズの用紙に，次の順序で横書きにして下さい。

- 1) 候補者（被推薦者，連名授賞可）について：氏名（ふりがな），生年月日，大学卒業年，現職および連絡先（電話，Fax，e-mail）
- 2) 授賞対象とする研究の表題（英語表記も）
- 3) 推薦者について：氏名（ふりがな），現職，連絡先（電話，Fax，e-mail），被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨（300字以内）
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として，推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3編以内）

2010年度（第15回）欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は，良い論文が Publications of the Astronomical Society of Japan (PASJ) に投稿・出版されるのを奨励するために設定したものです。なお，本賞の選考委員会は，林 忠四郎賞選考委員会が兼ねることになっています。

対象論文等：原則として過去5年以内に Publications of the Astronomical Society of Japan に出版された論文のうち，独創的で天文学分野に寄与の大きい，特に優れた論文の著者（共著の場合はすべての各共著者）に授与する。

授賞件数等：原則として1年に2件以内。賞状と副賞を授与する。

推薦書の形式：表題は「2010年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」として下さい。A4サイズの用紙（e-mailでも可）に，次の順序で横書きにして下さい。

- 1) 候補論文について：論文題目，筆頭著者名，出版された巻，ページ，発行年
- 2) 推薦理由（1,000字程度）
- 3) 推薦者について：氏名（ふりがな），現職・連絡先（電話，Fax，e-mail），被推薦者との関係
- 4) e-mail で応募する場合は jimuj@asj.or.jp 宛に出して，受領した返事を必ずもらって下さい。

2010 年度研究奨励賞（第 22 回）受賞候補者推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近 5 年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日（本年度は 2010 年 1 月 1 日）で 35 歳以下の者であって、毎年 3 名以内を対象とし、賞状、賞牌（メダル）および賞金（10 万円）を併せ授与しています。本年度の受賞候補者の推薦を以下の要領でお願いします。

- (1) 締切：2010 年 11 月 10 日（水）必着
- (2) 提出書類：○候補者氏名、現職、生年月日、○授賞対象とする研究の表題（英語表記も）、○推薦者の氏名、現職、連絡先、○推薦理由（300 文字程度の要旨と A4 で 2-3 枚程度の本文）、○関連論文リスト、○推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3 編以内）
- (3) 提出先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台内

日本天文学会研究奨励賞選考委員会

選考委員会では、推薦された方の中から、研究奨励賞内規に基づき選考を行い、候補者を評議員会に推薦します。

2010 年度（第 10 回）天文功労賞候補者推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は、近年多岐にわたっている研究機関外での天文活動、例えば長年の天体観測や、突発的な現象の検出や的確な通報などを、称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・発見功労賞の枠外となっている天文観測・研究活動全般です。対象者は、「天文研究を主たる業務としない」個人および団体で、日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、候補者を評議員会に推薦します。

天文学会の会員の方々からの候補者（団体）推薦を、広く募集します。A4 紙 1 枚程度で、候補者（団体）名、功績名（1 行程度）、功績の説明を書いていただき、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 / Fax: 0422-31-5487/jimu@asj.or.jp）にお送り下さい。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。

推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に乗せるには、2010 年 12 月 31 日までにお送りいただくようお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

訂正

2010 年 9 月（第 103 巻第 9 号）に誤りがございました。お詫びして訂正致します。

597 頁 左側上より 8 行目 誤）〔次回の理事会〕

正）〔次回の評議員会〕

庶務理事

天文月報オンライン/投稿用アップローダーの ID とパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード（5桁の数字と）vol98（5文字）の計 10 文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

児玉忠恭（編集長）、浅井 歩、柏川伸成、衣笠健三、鈴木 建、徂徠和夫、竹井 洋、野田寛大、浜名 崇、三好 真、山崎 了、吉田直紀

平成 22 年 9 月 20 日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社

定価 700 円（本体 667 円） 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）/0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2010 年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）